

としょかんだより

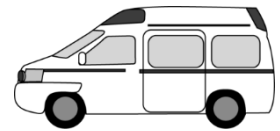
2016・5月号
関屋小学校図書館



本のつくりを知り 大切にとりあつかおう

本は紙と糸とのりでできています。らんぼうにあつかうとすぐバラバラになってしまいます。もしやぶってしまったり、いたんだ本をみつけたりしたときは、図書館にある「本の救急車」(箱)にいらしてください。なおせるものは、なおして、本だにもどします。でも、なおせないものもあります。水でぬれてしまった本、たべものでよごれた本、ページがなくなってしまった本・・・

図書館の本は、みんなの本です。大切にあつかいましょうね。



1ねんせい、4月から毎回担任の先生といっしょに図書館にきて本の借り方返し方をおぼえました。そしてこのごろは、ひとりできたり、お友だちどうしできたり、休み時間に借りています。

上級生のみなさんは、借り方でこまっている1年生を見かけたらやさしく教えてあげてくださいね。そしておすすめの本もたくさん紹介してあげてください。



図書館で新聞が読めます！

まいにちしょうがくせいしんぶん
毎日届く毎日小学生新聞と

火曜日に新潟日報にはいってくるふむふむが
おいてあります。テレビのニュースなど小学生
にもわかるように書かれています。記事も
小学生が興味のあることが、たくさんとりあげ
られています。

ねが お願い



雨の多い時期になります。雨の日
は本がぬれないように気をつけま
しょう。手さげぶくろごと本がぬれて
しまうことがあります。本をビニ
ールでくるむなど工夫してください。



感想文コンクール



第62回青少年読書感想文全国コンクール、第45回新潟県課題
 図書読書感想文コンクール課題図書がきました。小学校の
 部の課題図書は、図書館に22冊全部そろっています。その中か
 らどれでも好きな本を選んで読んでください。そして、何かを
 感じたら感想文を書いてみてください。

※かいてみたい人は、クラスの先生にもうしでてください。

第45回新潟県読書感想文コンクール課題図書

	本のなまえ	書いた人
一 年	あっ！みつけたっ！！	くすのきしげのり
	だいじなおとしもの	サリナ・ユーン
二 年	あいつとぼく	辻村ノリアキ
	がんばれ！名犬チロリ	おおきとおる
中 学 年	コッケちゃん	佐藤まどか
	犬をかうまえに	赤羽じゅんこ
	コロッケ先生の 情熱！古紙リサイクル授業	中村文人
高 学 年	金色のキャベツ	堀米 薫
	なみだの穴	まはら三桃
	さくら猫と生きる	今西乃子

第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

	本のなまえ	書いた人
低 学 年	ボタンちゃん	小川洋子
	ひみつのきもちぎんこう	ふじもとみさと
	みずたまのたび	アンヌ・クロザ
	アリとくらすむし	島田たく
中 学 年	二日月	いとうみく
	さかさ町	F.エマツ・アト リュス
	木のすきなケイトさん	H.ゾ ヴェフ・ホ キス
	コロッケ先生の 情熱！古紙リサイクル授業	中村文人
高 学 年	茶畑のジャヤ	中川なをみ
	ワンダー	R・J・パラシオ
	ここで土になる	大西暢夫
	大村智ものがたり	馬場錬成

だいじなおとしもの

サリナ・ユーン/作 三辺律子/訳

ある日クマくんは、森の中で、ウサギのぬいぐるみを見つけました。もちぬしをさがしまわるうち、ウサちゃんがかけがえのない存在になっていきます。



心あたまる友情の物語。

(岩崎書店)

犬をかうまえに

赤羽じゅんこ/作

ぼくがたんじょう日プレゼントにほしいのは、犬。でも、うちではどうしても犬をかうことができない。……ぼくだって、犬がかいたいよ！ そんなぼくのもとに、「犬の散歩ボランティア」の話がまいこんできた。



よーし、犬をかうまえの練習だ。がんばるぞ！ (文研出版)

なみだの穴

まはら三桃/作

とつぜんの転校で、仲良しのクラスメートと別れることになった光太。大好きな甘い物をたってレスリングの練習にはげむ真矢……。けんめいになみだをこらえる子どもたちと、なみだの穴にまつわる6つの話。



(小峰書店)

ボタンちゃん 小川洋子/作

ボタンちゃんはアンナちゃんのブラウスの一番上にとまっています。ボタンちゃんの仲良しは、なんととってもボタンホールちゃんでしょう。ふたりはいつもいっしょです。ところがある日、ボタンちゃんをとめていたいのがきれてしまい、はなればなれになってしまいます。



(PHP 研究所)

コロッケ先生の情熱！古紙リサイクル授業

中村文人/文

コロッケ先生こと小六信和さんは、「紙はゴミじゃない！」を合言葉に、小中学校で、古紙リサイクル授業を行っています。本業は、古紙回収業を営む社長さんです。なぜ、古紙のリサイクルに情熱を注いでいるのでしょうか？



(佼成出版)

ワンダー R・J・パラシオ/作

オーガスト・プルマンはふつうの男の子。ただし、顔以外は。生まれつき顔に障害があるオーガストは、はじめて学校に通うことになった。だが生徒たちはオーガストの顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、オーガストの話をおもしろいと感じる同級生は、少しずつ増えていた。そんなとき、事件が起こる……。(ほるぷ出版)

